

### 3 ICTを活用した指導方法の開発

〈学習場面ごとのICT活用を類型化し、そのポイント及び実践事例を掲載〉

#### A 一斉学習

挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。

##### A1 教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

#### B 個別学習

デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進捗で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。

##### B1 個に応じる学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

##### B2 調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

##### B3 思考を深める学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

##### B4 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作

##### B5 家庭学習



情報端末の持ち帰りによる家庭学習

#### C 協働学習

タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学习において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。

##### C1 発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

##### C2 協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理

##### C3 協働制作



グループでの分担、協働による作品の制作

##### C4 学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

単元『項目を立てて書こう』 本時（4/4）

**主眼（単元の目標）**

板野支援学校との交流会に向けて、相手や目的を意識した上で、項目ごとに整理して案内文を書く。

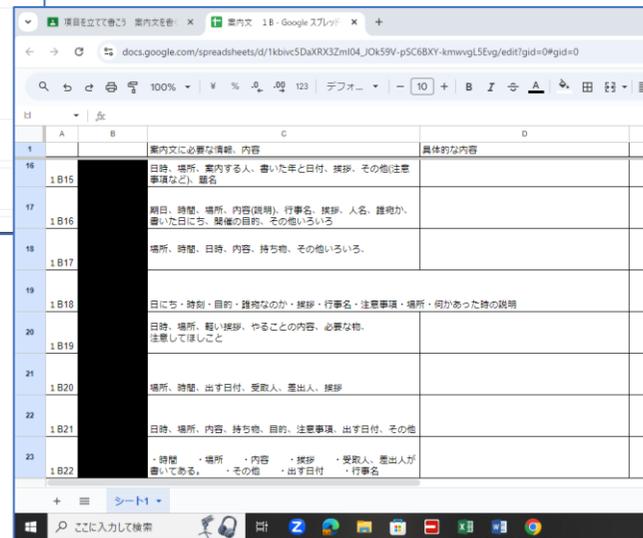
**主発問（本時のめあて）**

グループで案内文を読み合い、よりわかりやすい案内文を仕上げる。

**【主体的・対話的で深い学びを実現するICT活用のポイント】**

- GoogleClassroom に学習の流れを提示することにより、主体的に課題に取り組めるようにする。
- スプレッドシートを用いて次のような生徒の思考活動を実現させる。
  - 課題解決のために必要な知識を主体的・対話的に獲得していく。
  - 仲間の収集した情報を即時共有することで、より深い学びにつながる。
- メタモジを使ってわかりやすくまとめる活動を通して、豊かな表現力を養う。

**【板書・ICT画面 等】**



	<b>導入</b>	<b>展開</b>	<b>まとめ</b>
学習活動	①前時までの復習をし、本時の課題をつかむ。	①他のグループの案内文を読んで参考にし、よりわかりやすい案内文になるよう仕上げる。	①他のグループの案内文の参考になったところや、それを元に工夫したことを共有する。
留意点	①相手や目的を意識して、わかりやすく項目を整理することを確認する。	①自分のグループの活動内容等、伝えたいことが明確に伝わる内容になるよう工夫させる。 ・項目の立て方 ・語句選びなどの表現 ・図や絵の使用	①他のグループの参考になったところと共に、自分のグループの案内文をどのように推敲したかを発表させる。
<ICT>【類型】	<GoogleClassroom> <Google スプレッドシート> <MetaMoj Classroom>	<Google スプレッドシート> <MetaMoj ClassRoom> 【B3・B4・C2】	<MetaMoj Classroom> 【C1】